



故郷に帰った三角点

片野 スミ子

私の住んでいる座間市には、地形図作成の原点である相模野基線の南端点があります。この基線から西へ伸びる一等三角点が、2004年3月に故郷であり生誕地である厚木市の鳶尾山に戻りました。私たち地理クラブが2001年5月26日に愛川町中津小学校と幼稚園にはさまれた仮の住まいを訪れた時は、四隅に石を配し、中央に18cm角柱の標石が埋められておりました。ところが2003年11月9日に再度訪れた時は、児童がつかずいて危険ということで地下にマンホールのような形で埋められていました。2001年の12月に埋められたそうです。鳶尾山の住宅化による工事のために避難していたのです。

その三角点が33年の歳月を共に過ごした児童と別れ、故郷に帰ったのです。鳶尾山頂(標高235m)へ戻った三角点は、四隅を石で囲み中央に標柱を配しコンクリートで固定されていました。でもこの標柱をよく見ると、中津小にあった標柱と異なっています。一等と書かれている文字が右からきざまれています。はてな?と厚木市役所に問い合わせたら、鳶尾山は厚木市内でも、三角点は愛川町で管理されているとのこと。愛川町役場の答えでは、明治に設置された標柱は国土地理院で保管されていて、その標柱が2004年3月に鳶尾山頂に設置され、小学校に埋められていた標柱は国土地理院へ持ち帰ったそうです。「三角点は山頂に設置されたものの、まだ地理院から正式な認可はされておらず、5月に正式発表される様です。」とのお答えでした。2004年7月に地理クラブ数名で鳶尾山へ三角点を確認に行く途中、以前設置されていた愛川町へ立ち寄りましたがその場所は跡形もありませんでした。

(別紙の写真を見比べてください)

国土地理院によると、ずれる恐れのある一等三角点を移設する例は数年に一度あるが、再び元の場所に戻るの「きわめて異例」だそうです。33年の避難暮らしと約2年の地下暮らしを経験した鳶尾山の三角点は、近代測量の出発点というだけでなく、数奇な運命を経験して漸く安穏な生活をとり戻したのです。

今、鳶尾山の南側は、宅地造成が完了して近代的な住宅街に生まれ変わっています。北側の八管神社から山頂を経由して鳶尾団地へのハイキングコースは桜の咲く頃がおすすです。

(編集者注記)この原稿は2005年6月に片野さんより「山」

への投稿用にお預かりしていたものです

追記：鳶尾山(とびおさん)一等三角点の記 より

所有者：愛川町

選点：平成16年3月4日

設置：平成16年3月5日

観測：平成16年3月6日

履歴1：平成13年12月17日低下改埋 旧設置：昭和46年12月10日

履歴2：昭和46年12月10日移転 旧設置：明治16年12月



コラム

沖縄・西表島に「東経123度45分6.789秒」の子午線

AGC レポート vol-3 の N35・E139、vol-4 の N40・E140 の交点などを訪ねる記事が掲載されましたが、こんどは1~9の数字が並び子午線があるという話です。これは遠山さんからの情報で、氏の所蔵している「地図ニュース」No306(1998/3)に国土地理院の沖縄支所が発見したという記事の内容です。この子午線は陸部ではロシア、中国、フィリピン、インドネシア、オーストラリアの国々を通っているが国内では西表島の西側一

部分僅か10km程度しか通っていないそうです。位置に関連する数字では兵庫県西脇市の「日本のへそ」(N35、E135)、高知市江ノ川の「地球33番地」(N33°33'33" E133°33'33")やレポートで紹介したような交点があり、ポイントを探し出す楽しみ方がありますが、子午線や緯度線など線に沿って歩くようなものもアリかもかもしれませんね。

そのほかにも面白い数字を発見した方は是非報告ください。西暦高度の山に登ることも同類なのでしょうか。

ちなみに2008mの山や自分の誕生日高度なども調べておいてはいかがでしょうか (kon)

読図研修

第2回・障害物のない平地(田圃地帯)での読図

予定していた11月10日は雨天のため順延しました

12月15日(土) 集合時間、集合場所は同じです

集合: 関東鉄道常総線水海道(みつかいどう) 駅 AM9:00

参考: 常総線・取手8:20 守谷8:37 水海道8:48

秋葉原8:00(つくばEX 快速) 守谷8:32)

ルート: 水海道駅...北袋付近の小貝川土手(簡単な説明)...
N36E140 交点...宮戸新田の三角点 11.4m...加藤の水準点 10.1
m...正角の水準点 10.9m...成瀬本田の神社記号...遠表の三角
点 10.0m...常総橋の神社記号 (ここから間宮記念館方面へ行
くか、戻るかは現地で判断します)。参加者は必ず遠山までご連絡
ください。緊急時の連絡先 048-771-0053 もしくはメール
kin9@mt3.org (担当・遠山)

第3回・ハイキングコース1

2008年1月19日(土) 場所: 奥武蔵・大高山周辺。

小雨・雪の場合は中止、前日雪が降った場合も中止します

集合 西武秩父線 吾野駅 午前9:00

(電車参考: 池袋 07:36(西武秩父行) 所沢 08:00(快速急行)
吾野 08:46 着)

一般向けハイキングコースを利用して、現在地点を常に追いか
めながら歩きます。等高線で描かれないピークや、鞍部に騙さ
れないよう、一つずつ確認しながらゆっくり歩きます。漠然と
歩いていると、現在地点が判らなくなるコースです。

ルート: 吾野駅->前坂->大高山(493m)->天覚山->東吾野駅
地図 1/2.5 万図「原市場」「飯能」

装備 軽アイゼン

担当 遠山元信 048-771-0053 まで必ず申し込みを。

申し込みしませんでした、中止の場合連絡しません。

第4回・ハイキングコース2

2008年2月16日(土) 場所: 三浦半島・金沢自然公園付近

集合: 京急金沢文庫駅 AM9:00 行程: 駅..金沢自然公園...
大丸山...円海山...瀬上池...JR 港南台駅

なお事前勉強会を1月または2月の例会時に行いますので、
1/2.5 万地形図「戸塚」・シルバコンパス、分度器、筆記具(43cm
以上の線引きできるもの)、ルーペ(任意)マップポインター(任
意)等を持参ください (担当・鶴田)

地図整理・経過報告

これまでに13段分(全部で25段+)約1500枚の図幅名の
チェックが進んでいます。半分ぐらい完了していますが継続し
て実施いたしますので、時間の許す方は是非参加ください 次
回12月5日(水)15:00~ 12月19日(水)17:00~ 2008年
1月9日(水)15:00~ (原則は第1水曜15:00~、第3水曜
17:00~ 各約3時間です)

行ってきました!

会員の山行報告

雨の中で資料館見学

第2回の読図研修は雨で順延しましたが、当日集まった5名
(遠山、大西、藤江、羽鳥、近藤)は雨の中「間宮林蔵記念館」
と「国土地理院の地図と測量の博物館」を見学して、有意義な
(?) 時間を過ごしました。

間宮林蔵記念館については前号でも少し紹介しましたが、こ
じんまりとした敷地に茅葺の生家と林蔵の遺品や資料を納めた建
物があります。展示内容で印象深いのは、林蔵の作った「蝦夷
図」。河川の支流や内奥部が細かく記されていて、いつまでも見
ていたい地図だった。あとで複製でもないかと調べてみたら過
去に複製されたことがあり古書店で30万円もすることがわか

った。とうてい手が出せないで時間のある時に再訪してじ
っくり模写でもしようかと 頭をよぎった。(近藤)



間宮林蔵銅像前の生家と記念館

図書・資料の紹介

新刊: 柴田昭彦/著 **旗振り山** ナカニシヤ出版 ¥2,857-
見通しのよい山から山へ旗振りにより米相場を伝達した歴史を
初めて解明。山岳通信の一形態として興味深い (平野)

例会の議事録

2007年11月14日(水) (水)19:00~20:10 於: ルーム集会室
出席者13名(北野、平野、近藤、大西、鶴田(実)、鶴田(泰)、井上
(希)、井上(千)、寺田(正)、高橋、遠山、羽鳥、今井(順不同))

内容 1. 総務委員会から各同好会へ晩餐会前の行事関連の手
伝い(女性会員)要請有り。また、晩餐会参加申し込み人数が今の
ところ三百数十名のみにつき、締め切りを延長しているとの連絡が
あった。(北野) 2. 新会員のオリエンテーションにAGC会員スカ
ウトのため遠山、大西で参加した。女性会員1名入会予定、12月の
定例会から出席するとのことであった。(遠山) 3. 11月10日の
第2回読図研修は5名の会員が現地で合流したが、雨天のため中
止した。12月15日に順延する。時刻等は既計画書に準ずる。(遠
山) 4. 2月16日に予定する三浦半島読図研習のために、机上
勉強会を12月5日の定例会で行う。新規の1/2.5万図「戸塚」お
よびシルバコンパスなどを準備のうえ、参加されたい。(鶴田) 5.
1月の読図実習は遠山会員が担当して奥武蔵で行う。雪の場合は
中止する。(遠山) 6. AGCレポートの分水嶺特集版を年内に発
行する予定であったが、原稿が半分ほどしか集まっていない。延期
せざるを得ないが、未提出の会員は必ず11月末までに提出願いた
い。(近藤) 7. 科学委員会では2月1日17時から東京都体育館
でGPSに関する講演を行う。別途「山」等で案内がある。(平野)
終了後は「館の家」にて懇親会(11名) 記録(今井)

お知らせ

展示会情報

特別陳列 日本を歩く一蝦夷・北海道編

11月13日(水)~12月16日(日) 東京国立博物館 本館16室
江戸時代における「蝦夷地」の地理や風土を記した紀行文や北
方図など30点以上が展示・紹介されている。(遠山)

次回の例会

日時 12月5日(水) 18:30から 於: 山岳会 ルーム
テーマ: 第3回読図研修(奥武蔵)の詳細説明、ほか
例会終了後の懇親会も是非出席ください
なお、同日15:00から地図整理を行います

編集後記

>AGCレポ-ト特集版の編集作業中、JAC北海道支部の雪崩事故
のニュースが飛び込んできた。分水嶺踏査でも大活躍した方だ
ただけに残念です。ご冥福をお祈りいたします。(kon)

AGCレポート vol-5 2007年11月28日発行
発行: 日本山岳会・山岳地理クラブ
〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
編集担当: 近藤 E-mail: hikarikon@nifty.com